

製品名: PKA γ 猫ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab16188**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	40kDa

抗原情報

遺伝子名	PRKACG
別名	PRKACG; cAMP-dependent protein kinase catalytic subunit gamma; PKA C-gamma
遺伝子 ID	5568.0
SwissProt ID	P22612
免疫原	抗血清はヒト KAPCG 由来の合成ペプチドに対して作製された。AA 範囲: 1-50

背景

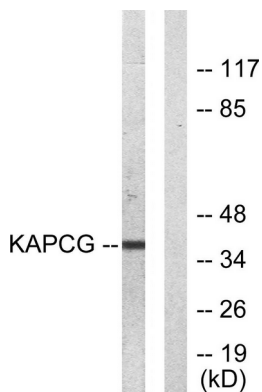
サイクリック AMP 依存性プロテインキナーゼ (PKA) は、2つの触媒サブユニットと1つの調節サブユニット二量体からなる。この遺伝子は、その触媒サブユニットのガンマ型をコードする。この遺伝子はイントロンを持たず、PKA 触媒サブユニットのアルファ型

遺伝子から派生したレトロトランスポゾンであると考えられている。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]、触媒活性: ATP + タンパク質 = ADP + リン酸化タンパク質。、酵素調節: cAMP によって活性化される。、機能: 細胞質および核において、多数の基質をリン酸化。、類似性: プロテインキナーゼスーパーファミリーに属する。AGC Ser/Thr プロテインキナーゼファミリー。cAMP サブファミリー。、類似性: AGC キナーゼ C 末端ドメインを 1 つ含む。、類似性: タンパク質キナーゼドメインを 1 つ含む。、サブユニット: 2 つの触媒サブユニットと結合した異なる調節サブユニットのホモダイマーまたはヘテロダイマーの組み合わせによって、多数の不活性な四量体ホロ酵素が生成される。cAMP は、不活性なホロ酵素を 4 つの cAMP と 2 つの遊離した単量体触媒サブユニットに結合した調節サブユニットの二量体に解離させる。、組織特異性: 精巣特異的。しかし、脳や卵巣などの重要な組織における転写産物の内容は分析されていない。、

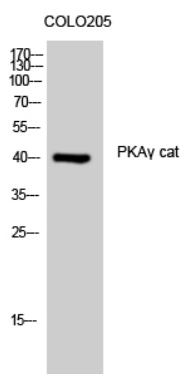
研究分野

MAPK_ERK_成長;MAPK_G_タンパク質;カルシウム;ケモカイン;卵母細胞減数分裂;アポトーシス抑制;ミトコンドリアアポトーシス;アポトーシスの概要;血管平滑筋収縮;WNT;WNT-T 細胞ヘッジホッグ;ギャップ結合;長期増強;嗅覚伝達;味覚伝達;インスリン受容体;GnRH;プロゲステロン媒介卵母細胞成熟;メラニン形成;プリオン病;コレラ菌感染症;拡張型心筋症;

画像データ



KAPCG 抗体を用いた COLO205 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



PKAγ cat ポリクローナル抗体を用いた COLO205 細胞のウェスタンブロット解析